

(参考資料) 海外におけるシンボルロードの事例

シャンゼリゼ通り(フランス、パリ)

- 1990年代に側道を閉鎖して歩道の拡幅工事を行い、歩行空間の確保とともに植栽を2列にするといった空間再編を行っています。
- また、同時期に地下駐車場の建設や建築や屋外広告物には規制をかけるなどの景観対策にも取り組まれています。
- 照明灯や車止めなどのストリートファニチャーはシャンゼリゼ通りオリジナルなものを作成・配置されています。
- 歩道の建物に隣接する部分や並木の間の部分にオープンテラス等の設置が認められています。

1980年代のシャンゼリゼ通り



空間再編後のシャンゼリゼ通り



写真出典: Tutti Frutti / Shutterstock.com



写真出典: Radu Razvan / Shutterstock.com



写真出典: Victor Maschek / Shutterstock.com

オーチャード・ロード(シンガポール)

- オーチャード・ロードは、シンガポール市街中心部の大通りでシンガポールの銀座と称されています。
- 1980年代に再開発が進み、ショッピングモールやホテルが集まるシンガポール随一の目抜き通りとなっています。
- 近年は新しいショッピングモールも次々とオープンし、シンガポールを代表する観光の拠点となっています。

オーチャード・ロードのにぎわい



写真出典: deepblue - photographer / Shutterstock.com



写真出典: CHEN WS / Shutterstock.com

(参考資料) 御堂筋の魅力を生かした取り組み

御堂筋ジョイふる(御堂筋フェスタ・KAPPO)

- 毎年、御堂筋を歩行者に開放し、大阪のメインストリートを存分に体感できるイベントとして毎年開催されています。



御堂筋イルミネーション(大阪・光の饗宴)

- 大阪・光の饗宴のコアプログラムとして、御堂筋沿道を光で魅力的に演出しています。

